

釧路管内ふるさとキャリアだより

～小中高一貫ふるさとキャリア教育推進事業～

北海道教育庁釧路教育局教育支援課高等学校教育指導班〔第3号〕平成29年4月28日発行

第2回地域未来づくり会議を開催しました

平成29年3月30日（木）北海道弟子屈高等学校において「第2回地域未来づくり会議」を開催しました。

本会議には20名の方が出席し、事務局から今年度実施した本事業に係る効果測定の結果や、「ふるさとキャリア教育推進連携フォーラム」や「第2回北海道キャリア教育推進会議」の報告が行われ、各研究指定校からは、今年度の取組について報告がありました



〈協議〉成果と課題及び今後の取組について

報告に続いて行われた協議では、参加した委員から多くの意見が出されました。本事業の成果としては、「企業と学校の関係が強まり、インターンシップがスムーズに行えるようになった」「地域を知ることで、進路先が札幌や東京だけではなく地元にも向いてきたという例がある」といったものがあげられました。一方、課題として「まだ地元の良さを知らない」という意見も出されました。今後の取組として「異年代の関わりが強まるなど期待している成果が出ており、事業終了後も小中連携は続けるべき」「取組を積極的に発信し、他の地域に影響を与えるものでありたい」といった意見が出され、最後に委員長が「これからも地域が一体となって本事業に取り組んでいくこととする」という形で協議を締めくくりました。



本事業に係る評価指標の結果から

本事業の活動や取組を振り返るとともに、児童生徒のふるさとへの理解や愛着が育まれたかどうかについて、管内研究指定校（弟子屈小学校、弟子屈中学校、弟子屈高等学校）において評価指標に基づくアンケートを実施しました。その結果とコメントの一部を紹介します。

1 ふるさとへの理解と愛着について

評価規準	小学校	中学校	高等学校
①弟子屈のことに、知っていることや好きなことができた。	31.6%	45.5%	57.4%
②弟子屈のことに、詳しく調べたり人に話したりできるようになった。	31.6%	46.5%	30.6%
③地域の活動に自分から参加しようとする気持ちが強くなった。また、実際に地域の活動に参加する回数が増えた。	36.8%	7.1%	12.0%

2 ふるさとの生活に関する興味・関心について

評価規準	小学校	中学校	高等学校
①弟子屈のことに、興味や関心を持っていることを見つけようとして行動し、発見することができた。	36.8%	48.5%	57.4%
②弟子屈のことに、興味や関心を持っていることが少し増え、詳しく調べたり人に話したりできるようになった。	47.4%	34.3%	30.6%
③実際に地域の行事や体験活動に参加することで、地域の小中高生や大人との交流が増えた。	15.8%	16.2%	10.2%

児童生徒からのコメント

- これからもっと地域の活動に参加してみようと思った。（小学生）
- 職場体験を通して、働くことや職業について考えが深まった。（中学生）
- 地域の人とも触れ合う機会が多くなり、弟子屈という地元のよさを改めて確認することができた。（高校生）